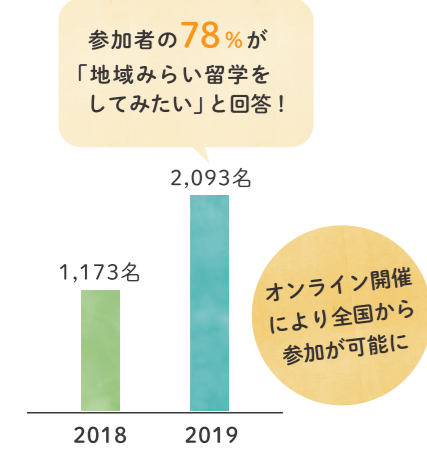
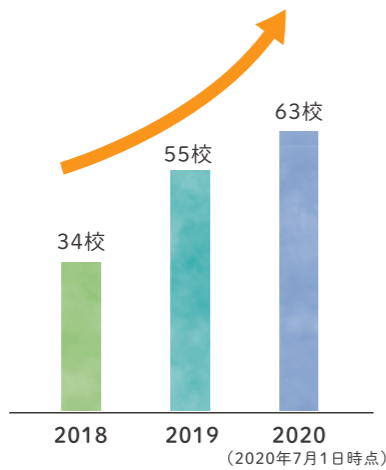


## 地域みらい留学生も受け入れ校も増えています！

地域みらい留学フェスタ来場者数



地域みらい留学受け入れ校



地域みらい留学をした人数  
多くの地域みらい留学生を受け入れる島根県の場合  
(2017-2019年度)



今や地域みらい留学は、**高校選びの一つの選択肢として当たり前**の時代になっています！

## 地域みらい留学 経験者の声



色々な大人と出会い、関わることで「自分の言葉で喋れる」ように。

東京都→広島県立大崎海星高等学校→青山学院大学  
細川 真住さん

高校にも自分と合う・合わないという相性があるもの。なので、広島の大崎海星高校、沖縄の久米島高校、岩手の葛巻高校の3つを見学した上で、私は海の近くで学びたいと思い、大崎海星高校の高校を選びました。

高校では色々な人の話を聞くことで、様々な職業を知ることもできましたし、何より自分の考えが深まり、価値観が広がったと感じます。迷った時は大人の人に相談して、意見を聞くようになりましたね。

高校ではニュージーランドに2週間、セブ島に1ヶ月間、留学させてもらうこともできたので、大学生活の中でも海外へいくことができたかと考えています。



人と違っていいと思う。僕は、自分らしい道を選びたい。

神奈川県→島根県立津和野高等学校→東京大学  
鈴木 元太さん

これまでずっと興味の範囲は理系が中心でしたが、津和野に来たことで大きく変わりました。歴史が息づく街で、山の上にある津和野城跡が僕のお気に入りの場所。神社のお祭りや神楽をやっている友達の影響もあって、伝統文化にも興味が広がっています。

都会にいと機会が少ないですが、こちらでは行政の方や農家の方、1ターンして地域おこしに取り組む方、街の和菓子屋さんなど、いろんな職業の方と話す機会に恵まれて、仕事に対するリアリティも持てるようになりました。今は学びたいことがたくさんありすぎて、時間が足りないくらい。将来の選択肢もどんどん広がっています。



この子ならではの輝ける場所があるはずだと、そう信じて。

東京都在住（島根県立隠岐島前高等学校卒業生の保護者）  
應手 麻貴子さん

息子が「なぜかわからないけどワクワクする」ということで、「オープンスクールくらいは行ってみたい？」と勧めたところ「まあ行ってみたいな」と。そこから始まりました。夏休みが終わってみると現実に引き戻されて「やっぱり俺、無理かも」とネガティブな発言も出てきたので、2学期は保護者の私も相当応援しました。

うちはどちらかといえば平均的な子どもです。成績表に2だって普通にある。だからこそ偏差値で輪切りにされた高校に行かせたくなかった。他の保護者さんも自分の子どもの力を信じていただきたい。地域に留学したところで広がるのは日常です。その中でどんなミラクルが起きるのか、それはわかりません。けれど、長い人生の中でそんな3年間あってもいいんじゃないかって思うんです。

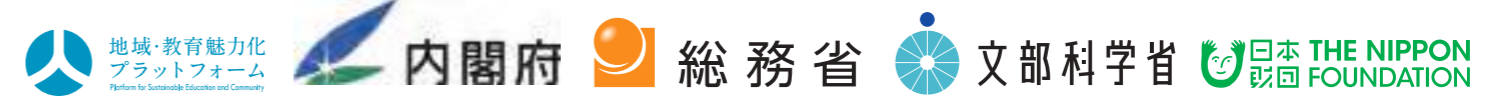
地域みらい留学の情報は [こちら](#) ▶▶▶ [地域みらい留学](#)



your stories  
**行こう。**

ここから、きっと、私がはじまる。  
**地域みらい留学**

公立高校進学における、もう一つの選択肢。  
8月22,23日(土日)、9月12,13日(土日)  
オンラインでの説明会を開催決定！



【主催】(一財) 地域・教育魅力化プラットフォーム、内閣府、地域みらい留学推進協議会 【共催】島根県教育委員会 【後援】総務省、文部科学省 【協力】日本財団

## 「地域みらい留学」とは

都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学し、充実した高校3年間をおくること。

### どこで

豊かな資源と多くの課題にあふれた“地域”という先進地で

### 誰と

立場や世代を越えた多様な人々と

### 何を

実社会の縮図体験となる3年間を過ごす

## なぜ今、「地域みらい留学」なのか？

### 日本社会の変化

#### 1 少子高齢化と人口減少

2060年には、日本の人口は現在の3分の2（約8700万人）へ。超高齢化社会による労働力人口減少の課題も抱えている。

#### 2 急激な社会の変化

財政赤字、競争力の低下、医療や年金などの社会保障制度、子育て、女性の社会進出など、日本にはこれから解決すべき課題が山積み。

#### 3 2020年度から大学入学共通テストが開始

「主体性を持って多様な人と協働して学ぶ態度（文部科学省）」を育てるため2020年度から新しい大学入試が実施。

こうした**正解のない世界**を生きていくために、

**自分の意志で挑戦を続け、自ら未来をつくる力**が求められる！

課題解決先進地である日本の地域には、**挑戦の機会**が溢れています。

## 「地域みらい留学」の魅力

### 新たな友達、世代を超えた仲間との出会いがある！



全国から来た生徒、地元から進学した生徒、地域住民の方々など、様々な人々との出会いがあります。多くの地域には高校と地域を結ぶコーディネーターがいるため、地域と交流しやすい環境です。

### ここでしかできない挑戦がある！



自然環境や伝統芸能に特化した部活動、地域の特色を活かした探究学習やキャリア教育等、挑戦できる環境と失敗を温かく受け入れてくれる仲間がそこにはいます。

### 本物の自然や文化にふれる！



都会にない美しい海、山、川。旬の食べ物、きれいな空気、静かな環境、地域ならではの文化や豊かな人間関係の中で感性が磨かれ、人間力が高まる高校3年間を送れます。

### 地域が見守る安心な環境で自律した生活ができる！



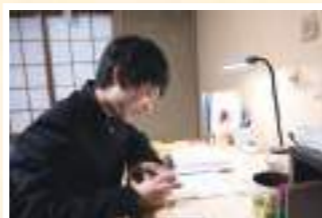
学校の先生だけでなく、地域住民の方も生徒の顔と名前を知っていることが多く、安心して暮らせる環境です。寮やホームステイでの生活を通して、思いやり、協働性、自律心や行動力が身につきます。

### 少人数教育で全員が主役！



一学級の人数が少ない分、役割をもつ機会が多くなり一人ひとりが主役に。自信、向上心、好奇心が生まれ、コミュニケーション能力も高まります。

### 都会や海外に比べて少ない費用！



一ヶ月の生活費は寮等込みで1万円～6万円程度。都会の物価水準や海外留学と比較しても、ローコストで生活できる環境が整っています。

## 地域みらい留学2020オンライン開催決定！

参加費無料  
事前申込みが必要

全国60以上の公立高校が集う、高校進学説明会を開催します。

全国どこからでも、  
オンライン参加可能です。



8月22,23日(土日)、9月12,13日(土日)

対象：高校進学を考えている中学生とその保護者

▼ イベントの詳細、参加申込はこちら ▼

地域みらい留学2020オンライン



お問い合わせ

info@c-mirai.jp

※新型コロナウイルスの感染拡大防止対策と、皆様の安全に最大限配慮し運営致します。イベント内容の最新情報については、公式サイト及び、SNSで随時お知らせします



※写真は昨年度の東京会場(対面開催)の様子です

## 24道県63校が地域みらい留学を受け入れ！

魅力あふれる地域の公立高校があなたを待っています

### 1 北海道

北海道奥尻高等学校  
北海道おといねっぶ美術工芸高等学校  
北海道礼文高等学校  
北海道大空高等学校

### 2 岩手県

葛巻高等学校  
遠野高等学校  
遠野緑峰高等学校  
住田高等学校  
大槌高等学校

### 3 山形県

遊佐高等学校

### 4 福島県

川口高等学校  
只見高等学校

### 5 新潟県

阿賀黎明高等学校

### 6 静岡県

川根高等学校

### 7 三重県

飯南高等学校

### 8 滋賀県

信楽高等学校

### 9 兵庫県

村岡高等学校

### 10 奈良県

現五條高等学校  
賀名生分校  
(西吉野農業高等学校)

### 11 和歌山県

串本古座高等学校

### 12 鳥取県

青谷高等学校  
倉吉農業高等学校  
日野高等学校

### 13 島根県

情報科学高等学校  
大東高等学校  
横田高等学校  
三刀屋高等学校  
飯南高等学校  
大田高等学校

### 14 島根県

島根中央高等学校  
矢上高等学校  
江津高等学校  
浜田水産高等学校  
吉賀高等学校  
津和野高等学校  
隠岐高等学校  
隠岐島前高等学校  
隠岐水産高等学校

### 15 岡山県

和気開谷高等学校

### 16 広島県

加計高等学校  
加計高等学校 芸北分校  
大崎海星高等学校

### 17 山口県

周防大島高等学校

### 18 徳島県

城西高等学校 神山校  
海部高等学校

### 19 愛媛県

弓削高等学校  
上浮穴高等学校  
内子高等学校 小田分校  
三崎高等学校  
宇和高等学校 三瓶分校  
野村高等学校

### 20 高知県

室戸高等学校  
嶺北高等学校  
梶原高等学校  
四万十高等学校

### 21 熊本県

矢部高等学校

### 22 大分県

久住高原農業高等学校

### 23 宮崎県

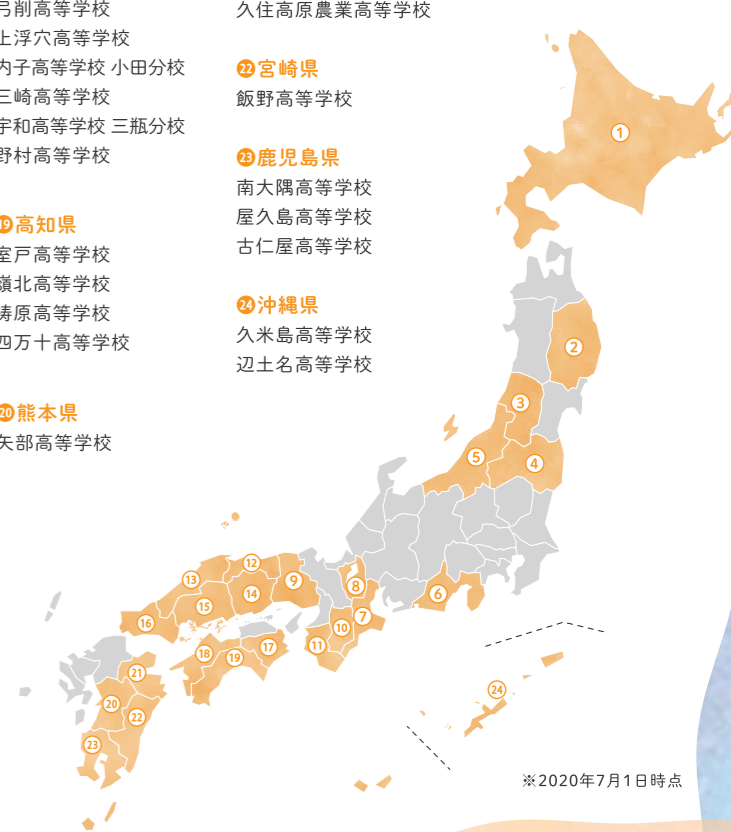
飯野高等学校

### 24 鹿児島県

南大隅高等学校  
屋久島高等学校  
古仁屋高等学校

### 25 沖縄県

久米島高等学校  
辺土名高等学校



※2020年7月1日時点

# 地域みらい留学フェスタ 2020

## 開催レポート

主催：（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム  
地域みらい留学推進協議会  
共催：島根県教育委員会  
後援：内閣府、総務省、文部科学省

Supported by 日本財団



## 01 地域みらい留学について

- ・ ご挨拶 P04
- ・ 地域みらい留学概要 P05
- ・ 参画校情報 P06
- ・ 地域みらい留学応援委員会 P07-P08

## 02 フェスタ2020のご報告

- ・ 特設WEBサイト P10
- ・ 集客/マーケティング活動 P11
- ・ 地域みらい留学LIVE P12～P14
- ・ 地域みらい留学フェスタ P15～P19
- ・ 参加者の声・アンケート P20～P21
- ・ 参画校先生方・関係者の皆様からの声 P22

# 01 地域みらい留学の概要

地域みらい留学

地域みらい留学 365

## 『3つの成長機会』

### 人間が大きく成長する3つの機会がある。

3years  
365

一つは、「逆境」である。

きつい、厳しい、苦しい、つらいに代表される苦境。ある種の修羅場体験。人は、飾ったり格好つけたりしてられない困難な局面に立ったとき、本能があらわれ、本気になり、今までの「限界」を超えた力を発露させたりする。苦悩、理不尽、挫折、板挟み...涙も出るような時間を乗り越えていった先に、どこか凜とした、たくましさや人を醸し出していく。「艱難汝を玉にす」「若い時の苦勞は買ってでもせよ」とは、よくいったものである。

もう一つは、「越境」である。

慣れ親しんだ環境を越えて、異文化に入ること。既知の範囲から未知の領域に足を踏み入れること。異分野での新たな挑戦や、異郷、辺境に入るような旅や冒険など。予定調和を越えた想定外を幾度となく体験することを通して、自分にとっての「当たり前」「常識」が問い直され、既存の価値観、固定的な見方・考え方が揺らぎ、自己の再発見、再構築につながっていく。そのなかで、しなやかさや人としての度量・器量が育まれる。「かわいい子には旅をさせよ」である。

三つ目は、「熱狂」である。

情熱をもって無我夢中に取り組むこと。興味関心への探究から生まれやすい、没入、忘我体験。周囲が考える「一般」や「普通」「バランス」といった枠や境を超えた、甚だしい行動や挑戦。湧き上がる好奇心や止むに止まれぬ冒険心、蒸気が立ちのぼるような熱量。こうしたのめり込み体験を通して人はバイタリティーや生命力を増強させていく。

地域みらい留学は、「越境」そのものである。そして、おそらく留学先の新たな環境のなかで「逆境」に陥ることができるだろう。自分の直感を信じて動き周れば、「熱狂」にはまることもあるだろう。

これら3つは、ときに痛みも伴う非連続で飛躍的な成長機会である。今の自分、今の環境を変えたいのであれば、成長したくないのであれば、痛みと向き合う覚悟ができていなければ、地域みらい留学はやめた方がよい。

選ぶのは自分だ。

越えていこう、今までの自分を、今までの「当たり前」を越えて。

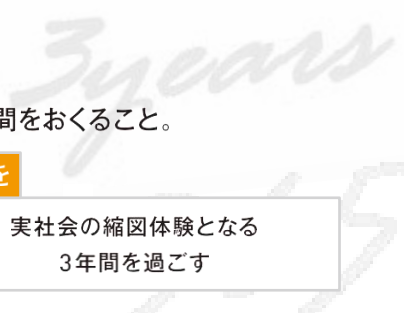
未知なるセカイへ。未来の自分へ。今、踏み出そう。



一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム  
代表理事 岩本 悠

## 「地域みらい留学」とは

都道府県の枠を越えて、地域の学校に入学し、充実した高校3年間をおくること。



どこで	誰と	何を
多くの課題を抱えた地域という 世界の先進地で	立場や世代を越えた 多様な人々と	実社会の縮図体験となる 3年間を過ごす

## なぜ今、「地域みらい留学」なのか？

日本社会の変化		
1 少子高齢化と人口減少  2060年には、日本の人口は現在の3分の2 (約8700万人)へ。超高齢化社会による労働 力人口減少の課題も抱えている。	2 急激な社会の変化  財政赤字、競争力の低下、医療や年金などの 社会保障制度、子育て、女性の社会進出など、 日本にはこれから解決すべき課題が山積み。	3 2020年度から 大学入学共通テストが開始  「主体性を持って多様な人と協働して学ぶ態 度(文部科学省)」を育てるため2020年度か ら新しい大学入試が実施。

こうした正解のない世界を生きていくために、

**自分の意志で挑戦を続け、自ら未来をつくる力** が求められる！

課題解決先進地である日本の地域には、挑戦の機会が溢れています。

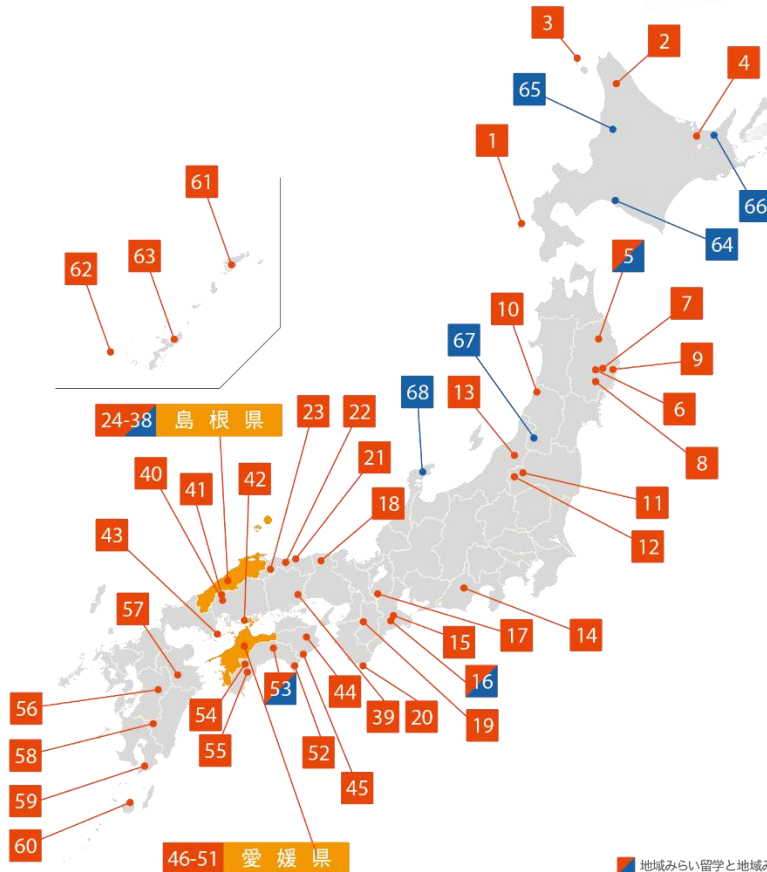
## 「地域みらい留学」の魅力

<p><b>新たな友達、世代を超えた仲間との出会いがある！</b></p> <p>全国から来た生徒、地元から進学した生徒、地域住民の方々など、様々な人々との出会いがあります。多くの地域には高校と地域を結ぶコーディネーターがいるため、地域と交流しやすい環境です。</p> 	<p><b>ここでしかできない挑戦がある！</b></p> <p>自然環境や伝統芸能に特化した部活動や、地域の特色を活かした課題発見解決学習やキャリア教育等、挑戦できる環境と失敗を温かく受け入れている仲間がそこにはあります。</p> 		
<p><b>本物の自然や文化にふれる！</b></p> <p>都会にない美しい海、山、川。旬の食べ物、きれいな空気、静かな環境。地域ならではの文化や豊かな人間関係の中で感性が磨かれ、人間力が高まる高校3年間を送れます。</p> 	<p><b>地域が見守る安心な環境で自律した生活ができる！</b></p> <p>学校の先生だけでなく、地域住民の方も生徒の顔と名前を知っていることが多く、安心して暮らせる環境です。寮やホームステイでの生活を通して、思いやり、協働力、自律心や行動力が身につきます。</p> 	<p><b>少人数教育で全員が主役！</b></p> <p>一学級の人数が少ない分、役割をもつ機会が多くなり一人ひとりが主役に。自信、向上心、好奇心が生まれ、コミュニケーション能力も高まります。</p> 	<p><b>都会や海外に比べて少ない費用！</b></p> <p>一ヶ月の生活費は寮等込みで1万円~6万円程度。都会の物価水準や海外留学と比較しても、ローコストで生活できる環境が整っています。</p> 

# 地域みらい留学・地域みらい留学365 学校情報

## 25道県 68校が地域みらい留学を受け入れ!

魅力あふれる学校があなたを待っています。



■ 地域みらい留学と地域みらい留学365の重複校

地域みらい留学

- 1 北海道 北海道奥尻高等学校
- 2 北海道 北海道おといねっぶ美術工芸高等学校
- 3 北海道 北海道礼文高等学校
- 4 北海道 北海道大空高等学校
- 5 岩手県 葛巻高等学校
- 6 岩手県 遠野高等学校
- 7 岩手県 遠野緑峰高等学校
- 8 岩手県 住田高等学校
- 9 岩手県 大槌高等学校
- 10 山形県 遊佐高等学校
- 11 福島県 川口高等学校
- 12 福島県 只見高等学校
- 13 新潟県 阿賀黎明高等学校
- 14 静岡県 川根高等学校
- 15 三重県 飯南高等学校
- 16 三重県 昴学園高等学校
- 17 滋賀県 信楽高等学校
- 18 兵庫県 村岡高等学校
- 19 奈良県 五條高等学校 賀名生分校
- 20 和歌山県 串本古座高等学校
- 21 鳥取県 青谷高等学校
- 22 鳥取県 倉吉農業高等学校
- 23 鳥取県 日野高等学校

- 24 島根県 情報科学高等学校
- 25 島根県 大東高等学校
- 26 島根県 横田高等学校
- 27 島根県 三刀屋高等学校
- 28 島根県 飯南高等学校
- 29 島根県 大田高等学校
- 30 島根県 島根中央高等学校
- 31 島根県 矢上高等学校
- 32 島根県 江津高等学校
- 33 島根県 浜田水産高等学校
- 34 島根県 吉賀高等学校
- 35 島根県 津和野高等学校
- 36 島根県 隠岐高等学校
- 37 島根県 隠岐島前高等学校
- 38 島根県 隠岐水産高等学校
- 39 岡山県 和気閑谷高等学校
- 40 広島県 加計高等学校
- 41 広島県 加計高等学校 芸北分校
- 42 広島県 大崎海星高等学校
- 43 山口県 周防大島高等学校
- 44 徳島県 城西高等学校 神山校
- 45 徳島県 海部高等学校
- 46 愛媛県 弓削高等学校

- 47 愛媛県 上浮穴高等学校
- 48 愛媛県 内子高等学校 小田分校
- 49 愛媛県 三崎高等学校
- 50 愛媛県 宇和高等学校 三瓶分校
- 51 愛媛県 野村高等学校
- 52 高知県 室戸高等学校
- 53 高知県 嶺北高等学校
- 54 高知県 梶原高等学校
- 55 高知県 四万十高等学校
- 56 熊本県 矢部高等学校
- 57 大分県 久住高原農業高等学校
- 58 宮崎県 飯野高等学校
- 59 鹿児島県 南大隅高等学校
- 60 鹿児島県 屋久島高等学校
- 61 鹿児島県 古仁屋高等学校
- 62 沖縄県 久米島高等学校
- 63 沖縄県 辺土名高等学校

地域みらい留学365

- 64 北海道 北海道鶴川高等学校
- 65 北海道 北海道幌加内高等学校
- 66 北海道 北海道斜里高等学校
- 67 山形県 小国高等学校
- 68 石川県 能登高等学校



## 地域みらい留学を応援して下さる皆様からメッセージをいただきました。



**多様な日本を学び、  
未来のリーダーの階段を  
上ってほしい**  
衆議院議員  
小泉 進次郎

私が学生の頃、よく父親から「日本にいたら日本のことはわからないぞ。」と言われていました。最初はどういう意味がよくわからなかったけど、その言葉がずっと残っていて、気づいたら海外に目が向き、オーストラリアへホームステイ、アメリカでの大学院・就職をするに至りました。そして、「日本にいたら日本のことはわからない」という意味がわかりました。高校生の皆さんには、ふるさとを出て、海外だけでなく、日本の地域課題最先端の地域で、都会とは違う多様な日本を学び、未来のリーダーの階段を上って欲しいと思います。



**21世紀を生き抜く力を養う  
高校進学**  
前文部科学大臣補佐官  
鈴木 寛

21世紀という複雑で不確定な激動の時代を生き抜く。それができるのは、想定外や板挟みと向き合い、乗り越えることのできる人材です。クリエイティブ・コラボレーティブに、AIでは解けない課題に取り組む人材を育む教育環境として、社会課題の山積地で、世代を超えた人々と交流のある日本の地域はまさに、想定外や板挟みの経験を積むことができる場であると考えています。この地域みらい留学が、21世紀を生き抜く力を養う高校進学の一つの選択肢としてスタンダードになることを願っています。



**地域が育む人の夢**  
公益社団法人  
日本プロサッカーリーグ  
(Jリーグ) チェアマン  
村井 満

Jリーグは今年開幕25周年を迎えます。Jリーグがスタートする前の日本はワールドカップに出場するのが大きな夢であった訳ですが、Jリーグ発足後、現在では6大会連続でワールドカップの出場を果たし、その夢を実現しています。そうした発展を下支えたのは、選手が単身海外に飛び出して武者修行をしたことと無縁ではありません。自分の殻を破り世界を広げることが夢の実現には必要なのでしょう。また25年前に10クラブから始まったJリーグですが、現在では全国38都道府県に54のクラブが活動をしています。「地域密着」というコンセプトを大切に歩んできた結果だと思っています。クラブに閉じただけでは発展に限りがあります。社会との連携こそお互いを大きく高めあっていくのだと思います。地域と一緒に人材を育成していくアプローチが今後日本全体に広がっていくことを願っています。



**人が成長する3つの要素の  
すべてが地域に転がっている**  
トビタテ!留学JAPAN  
プロジェクトディレクター  
鈴木 寛

地域みらい留学～越境体験で、ジブンと出会い、ミライを知ろう。若いうちに地域に“留学”して学ぶこと、暮らすこと、新たな人と出会うことは、大きな人生の分岐点であり財産になること間違いありません。著名な経営コンサルタントの大前研一氏は、人が成長するには3つの大きな要素があると言います。

- (1) 住む場所を変える
- (2) 時間配分を変える
- (3) 出会う人を変える

地域にはそのすべてが転がっているのではないのでしょうか？

これからの不確実な時代で、イノベーションが必要だといわれます。イノベーションを生む源泉は、異質なモノのぶつかり合いと多様性の確保です。住む場所を変え、出会う人を変える異質なモノとのぶつかり合いことで、多様な価値観、自身の中の多様性も見出し、獲得し、さらに地域が抱える過疎や少子高齢化の課題のような課題先進国である日本が抱える、世界のミライの課題と解決策に触れることも出来るはずで、そして、何よりもそういった環境で、様々な驚き、違和感、問題意識が芽生えるでしょう。そんな非連続な時間、空間、出会いこそが、“留学”の醍醐味であると、私自身トビタテ! 留学JAPAN の学生と触れる中で得た最大の実感です。

ジブンが何に興味を持ち、ナニモノになりたいのか？ 地域、日本、世界、地球をどうしたいのか？ 自身にとっての問題意識、志、夢や近いミライの縮図に触れることで、ジブンのミライの地図をつくってもらう機会になればと思います。

(2018年に寄稿いただいたメッセージです。)



**地域みらい留学を選ぶ  
みなさんへの期待**  
一般社団法人RCF代表理事  
藤沢 烈

7年間、東北復興に関わっています。そこで分かったのは、地元の仕事がないために若者が都市に出ざるを得ず、そのことが復興を妨げている現実でした。地元で貢献したい若者は多くいます。地域こそフロンティア(社会課題解決の最前線)であり、内容でも待遇でも誇りをもてる仕事が創れるのだと、ぜひ地域みらい留学は証明してほしいと考えています。地域にいれば成長するものではありません。地域みらい留学を選んだ若い皆さんは、自分が地域を変え、その結果として自分のキャリアも変えていくのだ、との想いをもって道を歩んでほしいと思います。



## リアルな変革の息吹を感じる体験

株式会社チェンジウェブ  
代表取締役社長  
佐々木 裕子

9年間、変革屋として様々な変革の現場をみてきました。企業。行政。人。地域。学校。どこであっても、変革の最初の一步は、ほんの数人の人たちが意思をもって集まり、熱量をもって、何かを解決していこうと動き始めることから始まります。わたしが様々な地域に関わり始めたのはここ数年ですが、「数人の熱い面白い人たちが」、これほどまでに地方に沢山いらっしゃるのか、と驚きます。そこにあるのは、手触り感のある「リアル」と人との繋がり。そして都会でないからこそ見える、もっと先にある「未来への希望」があるような気がします。日本という国の未来が、この多様性の中で創られていく。リアルな変革の息吹を感じる体験。私も沢山の方々とともに体感し、うねりを創る一翼を担っていきたくと思っています。



## 自分と地域の「関わりしろ」の多さこそおもしろい

株式会社sotokoto online  
代表取締役社長  
『ソトコト』編集長  
指出 一正

全国のさまざまな地域にうかがう中で、過疎地といわれる場所や、山間部のほとんど知られていないような土地でこそ、センスのある若者たちが、自分たちのやり方で、その地域を盛り上げようとしている例をたくさん見てきました。それは、地域においては都市部と異なり、コミュニティがばりばりに縛られず、自分と地域の「関わりしろ」がたくさんあるからだと思います。地域での高校生活を通して、地域の一員として、ぜひいろんなことにチャレンジし、自ら地域を変えていけるおもしろさ、楽しさを体感してみてください。



## 子ども時代に忘れてしまった大切な何かを取り戻す

島根県立飯南高等学校  
卒業生保護者  
野田 香織

娘が「ここではないどこかへ」と言い出したのは中学2年の進路相談の時。最初は海外も希望していたのですが経済的な理由もあり、代わりに「しまね留学」はどう？と持ち掛けたところ即座にのってきました。夏休みを利用して学校見学。空気がおいしく、子どもたちも先生ものんびりとした雰囲気のある飯南高校を迷わず選びました。とはいえ、娘を送り出すのは本当に寂しくてつらかったです。

そんな思いを跳ね返すかのように娘は入学早々からしまね生活を謳歌。地元のお友達もすぐにでき、見事に方言はうつり、東京生まれ・東京育ちとは思えない溶け込みっぷりです。毎日暗くなるまでバレーをしたり、鉄棒で逆上がりの練習をしたり、雪の日はそりすべりにかまくらづくり。なわとびで二重飛びができるようになったのは飯南高校に来たからだとおもいます。島根に行ったことで、子ども時代に忘れてしまった大切な何かを取り戻している、そんな気がしています。



## 本当に必要な教育は地域にある

NPO法人ETIC. 代表理事  
宮城 治男

興味をもってくれた中学生のみなさん、あなたはとてもセンスがありますよ。自信をもってください。保護者のみなさん、お子さんが挑戦に興味を持ってくれたとしたら、本当にラッキーだと思って下さい。私はこれまで多くの起業家や、各分野で、世界で活躍する若いリーダーを育ててきましたが、ただお勉強ができる子に育つことが、よい教育という時代は終わります。一方で地域には、全人格的な成長を支えてくれる人の温かさ、自然の豊かさがあります。挑戦する勇気もち、枠を踏み越えてくれるなら、その先に困難があっても、すべてかけがえのない成長に繋がります。それこそが本当に必要とされている教育、未来への投資となると、私は信じています。



## 自然の中で身近な仲間と切磋琢磨し、世界とも繋がる新しい教育環境

株式会社コルク代表取締役社長  
佐渡島 庸平

今、ネットは世界中に繋がっている。ネットの中で世界中の人と繋がり、一緒に学ぶことができるので、様々な環境が子どもにとって刺激になりえる。目の前に自然が広がっていて、昔ながらのコミュニティがあり、そこで身近な仲間と切磋琢磨しながらも、世界と繋がり、トップの力を知る。そんな新しい教育環境を作ろうとしている人たち、それを作るのに自ら参加して協力しようとする人たち、両方の試みを応援したい。



## 経験が自信となり、行動を起こす際の原動力となる

立命館大学  
政策科学部 政策科学科 3年生  
三輪 知寛

宮崎を盛り上げたい。そのためにまちづくりを学びたいと思ったのが、中学3年の秋でした。4ヶ月後には宮崎を飛び出し、島根県の離島にいました。島では、自分からインターンシップをしたり、お手伝いをして、多くの人と出会う中で、まちづくりのことはもちろんですが、その他にもいろんな学びがありました。

今、大学に入り、いろんな大人の方から声をかけられたり、ご依頼がやってくるのは、高校で島留学（地域みらい留学）をしたからだと思っています。中学3年生の時点で家を飛び出し、高校生活、誰も知らないところで生活していたという経験は、のちのち大きな自信となり、何か行動を起こす際の原動力になると思います。最後に、飛び出す後輩たちが増えることを願っています。

(2018年に寄稿いただいたメッセージです。)

## 02 フェスタ2020のご報告

地域みらい留学

地域みらい留学 365

# 特設WEBサイト

地域みらい留学フェスタの完全オンライン化に伴い、特設WEBサイトを7月1日にオープン。

完全オンライン化を決め、サイト制作に踏み切ったのが5月でした。2か月という短納期の中で創り上げたサイトはイベントを重ねながら補修をし、何とか1年間多くの方に使っていただける状態をつくれました。

今年の試行錯誤をもとに来年はよりよいサイトを作りたいと思っています。

## ▼特設サイト



## ▼フェスタページ



登録者数

2513名 (1家族1登録)

## ▼スマホ画面



## ▼参加予約プロモーション動画



## ▼ダッシュボード



# 集客/マーケティング活動

地域みらい留学フェスタの完全オンライン化に伴い、特設WEBサイトを7月1日にオープン。

昨年以前は全国の中学校にチラシをまくことが集客の大きな打ち手でした。しかしながらコロナの影響で休校が続き、学校に配布しても生徒に届かない可能性がありました。そこでWebマーケティングに予算をかける決断をしました。その他にもSNSで定期的な投稿をしたり、イベント参加を架電で促したりすることで新たな集客体制をつくりあげました。

## ▼ポスター



## ▼チラシ



## ▼マンガ



## ▼特設サイト登録者への架電

約3000件  
毎月約5日  
(7月~9月)



## ▼SNS (Facebook/Twitter/Instagram/note)



地域みらい留学の認知拡大と動機付けと、フェスタ参加促進策として、オンラインイベントを開催。

地域みらい留学という新しい選択肢を知ってもらうために、様々な分野の専門家や有識者、有名人の方々とのコラボイベントに始まり、地域みらい留学を知るための説明会、地域みらい留学をよりリアリティを持って考えてもらうための卒業生や在校生、保護者との座談会など、様々な方に協力をいただきオンラインイベントを開催いたしました。

総開催・参加者数

34開催 1,458名

	種別	名称	日時	ゲスト	参加人数	
1	単年	高校生活を楽しむ作戦会議 (高校生限定)	5/29 金	19:30-20:30	卒業生 荒巻響さん 卒業生 田中晴樹さん	2
2	単年	高校生活を楽しむ作戦会議 (高校生限定)	5/30 土	16:00-17:00	卒業生 山口結衣さん 卒業生 山中瑞歩さん	2
3	単年3年 合同	保護者の語る 地域みらい留学のリアル	6/3 水	18:30-20:00	卒業生・在校生保護者 應手 麻貴子さん	30
4	単年3年 合同	高学歴お笑い芸人 田畑藤本さんが語る 越境体験！ 中高生お悩み相談ラジオ	6/6 土	15:00-16:00	お笑い芸人 田畑藤本さん	15
5	3年	地域みらい留学説明会 ～地域で過ごす高校生活とは？～	6/10 水	19:00-20:30	-	30
6	単年3年 合同	経験者が語る 地域みらい留学 ～保護者編 Vol.2～	6/11 木	18:30-20:00	在校生保護者 池本洋一さん	46
7	3年	地域みらい留学説明会 ～地域で過ごす高校生活とは？～	6/17 水	19:00-20:30	-	39
8	単年3年 合同	経験者が語る 地域みらい留学 ～卒業生編 Vol.1～	6/18 木	18:30-20:00	卒業生 細川真澄さん	39
9	3年	地域みらい留学説明会 ～地域で過ごす高校生活とは？～	6/24 水	19:00-20:30	-	10
10	単年	探究の新しいかたちを考える コラボイベント	6/26 金	17:00-18:30	香里ヌヴェール学院 中学校・高等学校 池田靖章校長	7
11	単年3年 合同	Withコロナ これからの教育を考える	7/1 水	20:00-21:00	TURNS 堀口正裕氏	67
12	単年3年 合同	経験者が語る 地域みらい留学 ～在校生・卒業生の保護者3名による お悩み相談会～	7/2 木	18:30-20:00	卒業生保護者 野田 香織さん 在校生・卒業生保護者 應手 麻貴子さん 在校生保護者 長谷川 美知子さん	53
13	単年3年 合同	これからの時代の地域と教育の未来	7/11 土	10:00-18:30	・ソトコト編集長 指出一正氏 ・Instagram 代表理事 勝山恵一氏 ・慶應義塾大学 特任准教授 若新 雄純氏 ・大槌町教育専門官 菅野 祐太氏 ・一般社団法人神山つなぐ公社 理事・ひとづくり担当 森山円香氏 ・探究学舎代表 宝槻 泰伸氏	618
14	単年3年 合同	経験者が語る 地域みらい留学 ～卒業生編 Vol.2 都会から島へ渡った 2人のトークセッション～	7/13 月	18:30-20:00	卒業生 松本ロメルさん 卒業生 油井直也さん	13
15	3年	地域みらい留学説明会 ～地域で過ごす高校生活とは？～	7/15 水	19:00-20:30	-	5

	種別	名称	日時	ゲスト	参加人数	
16	3年	地域みらい留学説明会 ～地域で過ごす高校生活とは？～	7/18 土	17:00-18:30	-	6
17	単年	バーチャル地域みらい留学	7/19 日	15:00-17:00	ドルトン東京学園 安居先生	25
18	3年	地域みらい留学説明会 ～地域で過ごす高校生活とは？～	7/22 水	19:00-20:30	-	8
19	単年3年 合同	これからの時代の地域と教育の未来 part2	8/9 土	10:00-18:30	タイガーモブ株式会社 CEO 菊地 恵理子氏 株式会社LIFULL 代表取締役社長 井上 高志氏 雲南市 教育魅力化コーディネーター (認定NPOカタリバ) 鈴木 隆太氏 津和野町 教育魅力化統括コーディネーター(一 般社団法人ツワモノ) 中村 純二氏 英治出版株式会社 代表取締役 原田 英治氏 一般社団法人 Future Edu 代表理事 (Peatix.com 共同創業者) 竹村 詠美氏 株式会社New Stories 代表 (総務省 政策アドバイザー) 太田 直樹氏 作家・自由人 高橋 歩氏	272
20	3年	地域みらい留学説明会 ～地域で過ごす高校生活とは？～	8/12 水	19:00-20:30	-	18
21	単年	近大林先生イベント	8/15 土	10:00-11:30	林先生	10
22	単年	高校生みらいラボコラボ	8/16 日	20:00-21:30	地域みらい留学留学生	15
23	単年3年 合同	経験者が語る 地域みらい留学 ～卒業生編 Vol.2 都会から島へ渡った2 人のトークセッション～	8/17 月	18:30-20:00	卒業生 小谷望さん 卒業生 佐藤はなさん 卒業生 大石良平さん	36
24	単年	バーチャル地域みらい留学365	8/18 火	16:00-18:00	北海道幌加内高校 北海道斜里高校 北海道鶴川高校、石川県立能登高校 高知県立嶺北高校、島根県立隠岐島前高校	10
25	3年	地域みらい留学説明会 ～地域で過ごす高校生活とは？～	8/19 水	19:00-20:30	-	9
26	単年	ミネルバキャラバンオフィスアワー	8/23 日	10:00-12:00	ミネルバ大生	3
27	単年	地域で自分だけのプロジェクトを作ろう！ -最初の一步編-	8/23 日	13:00-15:30	受け入れ校生徒	3
28	単年	ミネルバジャパンキャラバン2020	8/25 火	18:00-20:00	ミネルバ大生	5
29	単年	地域みらい留学365相談カフェ	9/3 木	18:00-19:00	-	2
30	単年	【高校1年生限定】 地域みらい留学経験者 なんでも相談会	9/13 日	10:00-11:30	卒業生 鈴木元太くん	5
31	単年	「自分」だけの留学プランを作ろう！ -最初の一步編-	9/13 日	13:00-15:00	在校生 内藤隆慈さん	5
32	3年	経験者が語る 地域みらい留学 東京から高知へ渡った現役生と語る 地域で学ぶ意義と魅力	9/28 月	19:00-20:00	在校生 内藤隆慈さん	12
33	単年	「自分」だけの志望理由書づくり相談会	10/4 日	10:00-15:00	-	7
34	3年	【まだ間に合う!!】 来春からの地域みらい留学 ～ギリギリで留学を決断した先輩たちの 話を聞こうSP～	11/29 日	14:00-15:00	卒業生 細川ますみさん 卒業生 荒巻響さん	31

## ▼告知バナー



## ▼zoom記録



地域みらい留学LIVEとは、地域みらい留学について知り、理解を深め、進路選択の一つとして“地域みらい留学”を考えるイベントです。

地域みらい留学という新しい選択肢を知ってもらうために、様々な分野の専門家や有識者、有名人の方々とのコラボし、高校時代で地域で過ごすことの価値や都会で過ごす高校生活との違いを様々な切り口で語っていただきました。

また、地域みらい留学をよりリアリティを持って考えてもらうためのもらうため卒業生や在校生、保護者との座談会では、子どもを送り出した保護者の方々の不安や葛藤や3年間を地域で過ごした卒業生の生の体験談が赤裸々に語られ、これから地域みらい留学を考える保護者、中学生の皆さんにはとても好評でした。

様々な方に協力をいただきオンラインイベントを開催し、述べ1458名の方々にご参加いただきました。



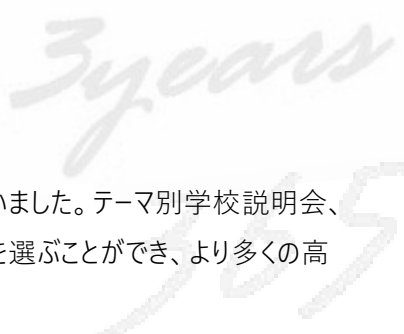
# 地域みらい留学フェスタ

第3回目となるフェスタは、完全オンライン化への初挑戦。

前日ぎりぎりまで架電での集客をし、昨年を上回る動員数を記録。

7月~10月まで月に2日でフェスタ（全国の参画校が1度に集まるイベント）を行いました。テーマ別学校説明会、学校説明会、学校個別相談、経験者が語るなど参加者の状況に合わせイベントを選ぶことができ、より多くの高校と接点を持つことができるような内容にいたしました。

今年度オンラインを形にできたことは来年度のイベント設計に大きな可能性をもたらしてくれる形となりました。



## 参画校

**25道県 68校**

(昨年度：26道県55校)

## 来場者数

**1,728組 3,456名**

(昨年度：1,108組2,093名)

※中学生と親で1組としています

### ▼3年

	開催日	内容	来場者数	プログラム参加総数	プログラム参加平均
7月フェスタ	25日(土) 26日(日)	テーマ別説明会・学校個別説明会 経験者が語る・まわり方相談所	668組 1,336名	2,558組 5,116名	3.83回
8月フェスタ	22日(土) 23日(日)	テーマ別説明会・学校個別説明会 経験者が語る・進路相談会	552組 1,104名	2,008組 4,016名	3.63回
9月フェスタ	12日(土) 13日(日)	テーマ別説明会・学校個別説明会 経験者が語る・進路相談会	479組 958名	1,689組 3,378名	3.53回
10月フェスタ	3日(土) 4日(日)	学校入試説明会・学校個別相談会 経験者が語る・進路相談会	—	—	—

※ブース訪問校数 昨年2.7校

### ▼365

	開催日	内容	来場者数
7月フェスタ	26日(日)	学校説明 & 質問会・オンラインランチ	211組 422名
8月フェスタ	22日(土)	学校説明 & 質問会・在校生トークセッション	96組 192名
9月フェスタ	12日(土)	学校個別相談会・在校生トークセッション 365へのステップ	210組 420名
10月フェスタ	3日(土)	学校個別説明会・学校個別相談会・相談コーナー	43組 86名

# 【3年】地域みらい留学フェスタ

## オープニングセッション（7月～10月）

フェスタに参加される方にはまずこのオープニングセッションへの参加を促しました。内容は、地域みらい留学の概要、フェスタへの参加方法でした。地域みらい留学の考え方を理解していただいた上で、参加者に合ったイベントに参加いただく流れを作ることができました。

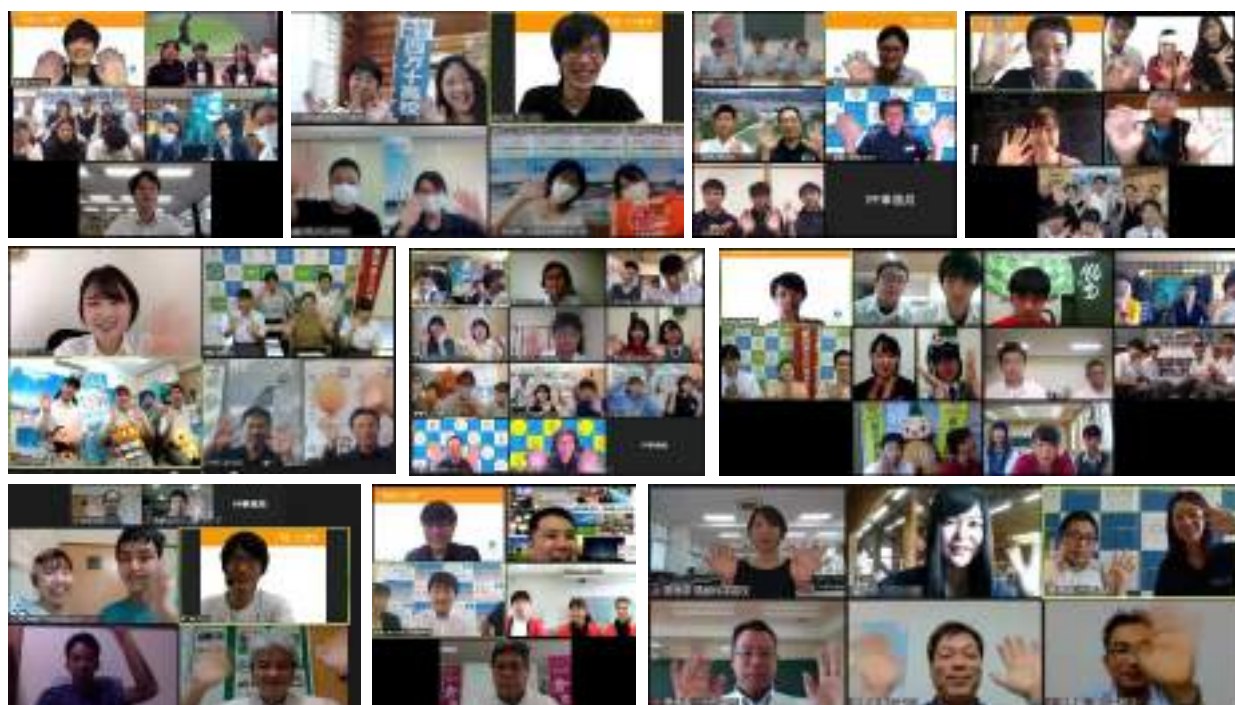


## テーマ別説明会（7月・8月・9月）

今回オンライン化に伴ってテーマ別学校説明会はメインイベントの機能を果たしました。

12種類のテーマに合わせて各高校が3～4校でショートプレゼンを行いました。学校名で選ぶのではなく参加者ごどのような特徴を持った学校に行きたいのか考え、そのテーマに合ったプレゼンを聞くことで、参加する前には知らなかった高校との出会いもあり、参加者にとっては新たな多くの高校との出会いを創出する場となりました。

高校にとっても他の学校のプレゼンを聞くことができたことで、他校の取り組みを知り自校と比較をしたり、プレゼン方法に参考になったりとオンラインではなかった学び合いの場ともなりました。



# 【3年】地域みらい留学フェスタ

## 経験者が語る（7月～10月）

3years

地域みらい留学をした先輩たちの声を届けるイベントを行いました。

地域みらい留学に行く前に想像していた生活や学びと実際はどう違ったのか。良かったことはもちろん想像していなかった苦悩もあったそうです。それを乗り越えたことも含めて、地域みらい留学をしてよかったという声に参加者に伝わったかなと思います。体験者の声はリアルで心に響く内容がたくさんありました。



## まわり方相談所（7月）

オンライン化したことサイトが使いやすいものではなかったこともあり参加者の方々にはご迷惑をおかけしました。まわり方相談所を設けることで参加者の方がしっかりイベントに参加できる状態をできる限りフォローをさせていただきました。

## 進路相談会（8月・9月・10月）

地域みらい留學生の排出を毎年してくださっている塾の塾長による進路相談を行いました。参加者それぞれの悩みにいままでの進路相談の実績を活かし丁寧にアドバイスをしていただきました。

## 学校個別入試説明会（10月）

各学校で入試の精度が異なることもあり、一日で気になる高校の入試の概要を知れるイベントとして開催しました。

地域みらい留学を決め入試の準備をするための情報集めとしてよい機会になったかと思えます。

## ■学校個別相談会（7月～10月）

志望校をある程度絞ることができた参加者の方々のためにより個別の不安、課題を解消する時間をつくっていただくために実施しました。

現地訪問に行く前に聞きたいことを聞く時間としてよい機会になったかと思えます。

## オープニングセッション（7月～10月）

初めて地域みらい留学フェスタに参加いただく方向けに、事務局より、まずは「地域みらい留学365」の概要をお伝えしました。また、留学先の12校がそれぞれの魅力を伝える1分間プレゼンの時間を設けることで、当日どの学校の説明ブースに参加するか、ここで全校のプレゼンテーションを見ることで、考えていただけるようにしました。

地域みらい留学365を知り、12校のプレゼンを見ることで、いろいろな学校との出会いを作れるようにしました。



## 学校説明＆質問会（7月・8月）

留学先の高校が、それぞれ30分間で、カリキュラムや寮、地域で学べることなど留学にあたり基本的な学校の情報をプレゼンしました

ここで、参加者が、まずは興味のある学校のプレゼンをいくつか聞いてみて、実際に学校に質問することで、留学へのイメージを膨らませたり、より留学に行きたいと思えるようにしました。



## 学校個別説明会・学校個別相談会（9月・10月）

留学先の高校が、それぞれ、留学したら一年間で経験できることなどを説明したり、留学を検討している参加者の個別の質問や今の気持ちにお答えしました。

留学にあたり、いくつか自分の気になる学校に聞いてみたいことや相談してみたいことがある参加者が、この時間に直接学校に個別で質問・相談をすることで、最終的な留学希望校を選択したり、留学にむけた不安の解消や留学先でやってみたいことなどをより具体化できるようにもしました。



## オンラインランチ（7月）

参加者同士や留学先の関係者が一緒にランチを食べながら、情報交換できる場にしました。

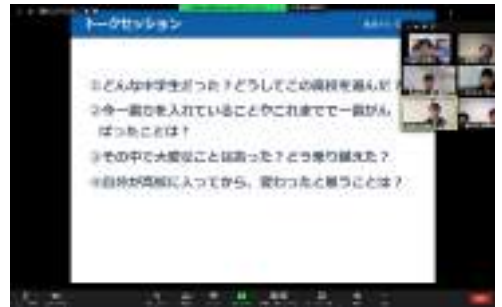
参加者が、午前中の説明会に参加しての感想を共有したり、どんなきっかけで地域みらい留学365を考えているのかなど、自由に話しながら一緒にランチを食べることで、参加者同士や留学先の関係者が、お互いを知れる機会にしました。



## 在校生トークセッション（8月・9月）

地域で活躍する留学先の高校生たちが、実際の学校での日常や、入学してからの変化などを自分の言葉で語りました。

トークセッション形式で一人ひとり違う地域での実際の経験談を聴けるようにすることで、参加者が、留学したら出会える人の魅力や経験などより具体的に留学先の様子を知って、留学することを決めたり、留学希望校を選択できるようにしました。



## 365へのステップ（9月）

興味を持った学校を見つけて、地域みらい留学365で留学しようと思った参加者向けに、事務局より、今後の流れを説明しました。

留学に向けた具体的な手続きを知ることで、参加者が、より留学を自分事化できるようにしました。

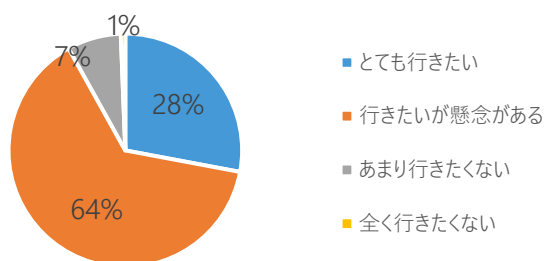


# 【3年】参加者の声～アンケート～

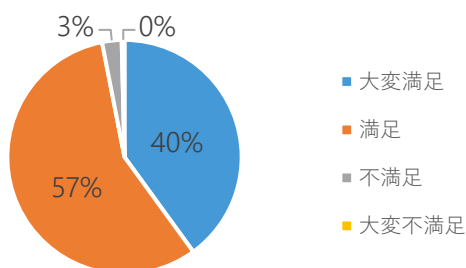
## アンケート

各月フェスタ開催後に、アンケートを実施しました。オンライン開催による地域みらい留学に「とても行きたい」・「行きたいが懸念がある」と回答した方が9割を超え、地域みらい留学への動機づけをすることができました。今後も、懸念を解消していけるような相談会などの企画を、親子のインサイトに寄り添って実行していきたいと思います。

### ■地域みらい留学への意欲



### ■フェスタ満足度



(7月～9月フェスタアンケート回答者対象 N=260)

### ■フェスタについて

- 志望校が見つかった
- 色々な学校の話聞いて、行きたい！と思える高校に出会えた
- 対面式と違い、同じテーマで何校もの話が聞けて比較が出来た。そのおかげであまり気にしていなかった学校にも興味を持つことができました
- 沢山の学校、地域との出会いがあった事。視野になかった学校の良さを知れた
- 登壇してくださった教職員、在校生、卒業生と会話でき、会場説明会よりもむしろ距離が近く感じました
- 先輩や先生達を通して、その学校の和やかな雰囲気が伝わってきた
- こちらの声や顔も出ず、何より気楽に参加できた（実際、部活帰りだったので、ご飯食べながら参加させて頂きました。）
- 学校と地域の方々が子供の成長を手助けしているのが理解できた
- テーマ別説明会で各校の説明5分だと、わかりづらい部分もある

### ■地域みらい留学への気持ち

#### <中学生>

- 普通の高校に行くよりも違った体験ができると思った
- 地元の高校に通うのとは異なる魅力を感じ、地域みらい留学に行くことが自分自身の成長につながると思った
- 自分の事は自分でやる力を身に付けたい
- 昨年から考えていたので、ほぼ気持ちは固まっています
- とても行きたい。自然を沢山学びたいから。楽しそうだったから。とても良い思い出になりそうだから
- 不安はあるが、自分を変えたいという思いがある
- 興味のある高校はいくつかあるが、まだ現地に行っていないので、どんなところなのか直接見てみたい

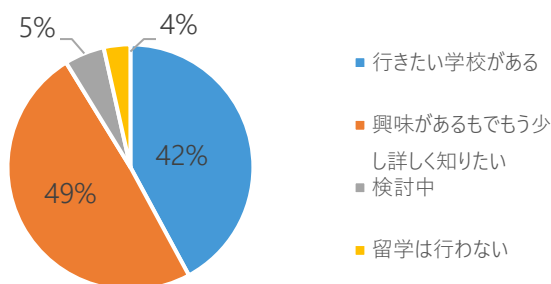
#### <親>

- 親元では学べない人間力をつけてほしい。また、当人も小規模でかつ離島への進学を希望している
- 環境が良さそうで、実際に生徒から話を聞いたことが、子ども本人の現実的に想像が膨らみ、行きたくなったようです。親としても、行かせて大丈夫かなあから、行かせたい！という気持ちに変わりました
- 少人数の教育に力を入れている事、受け身の授業だけでなく社会で生きていく力を養う方針に大変魅力を感じました
- 親はチャレンジして欲しいが、親元を離れる勇気はないそうです
- 卒業後の進路が狭まるのではないかと不安がある

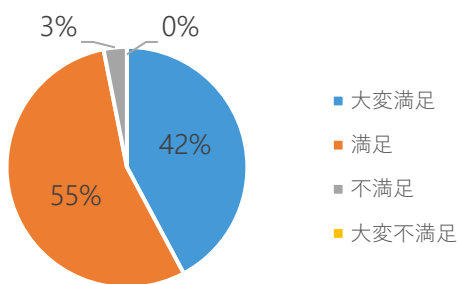
## アンケート

各フェスタ開催後に、参加者の方にアンケートを実施しました。「行きたい学校がある」「興味があるもう少し詳しく知りたい」が9割を超える結果となり、着実に地域みらい留学365へ興味を持っていただけたかと思えます。今後、「もう少し詳しく知りたい」の声に寄り添えるような設計やイベントを考えていきたいと思えます。

### ■地域みらい留学365への意欲



### ■フェスタ満足度



(7月～9月フェスタアンケート回答者対象 N=65)

### ■フェスタについて

- ひとつひとつの質問に対して、分かりやすく答えて頂けたから。それにより、疑問点がとても減りました
- 学校生活や寮生活の雰囲気を聞けてとても良かったです！留学を検討している学校のオープンスクールやオンライン説明会など新たに一步を踏み出せそうです
- どうしようと思いつながら勢いで参加したけど、参加して良かったと思えました！同い年の人の話を聞くと安心感が出ました。質問にも素早く答えてもらったので満足です
- 現在地域みらい留学に行かされている生徒さんの口から出る言葉はとても強く、自分の言葉で自分を語る力が桁違いでした。私は今自分の何を語れるのだろうかと核心に刺さり、こんな風になりたいと強く感じました
- まだ決められないことや、迷っていることはたくさんありますが、気軽に質問できそうで安心してます
- 自分の周りの人以外に将来の夢を話したことは今までになかったので緊張しましたが、肯定的な意見やエールを送ってくださる方々が沢山いて嬉しかったです。他の人のやりたいことについて聞いたことは無かったのでとても貴重な経験をすることが出来ました

### ■地域みらい留学365への気持ち

#### < 高校1年生 >

- 行きたい高校が増えた
- 地域みらい留学フェスタに参加し、自分の興味・関心のあることに対してアクションを起こしている人がいることを知りました。地域みらい留学をするかはわからないが、私も積極的にアクションを起こせる人になりたいと思えました
- 行きたいという思いが強くなればなる程、不安もとても大きくなってきました。でも、現在の学校の先生に「今、これがやりたい！というものがなくて、向こうに行って本当に見つけられるのか、もし見つけられなかったらと不安です」と打ち明けたら、それだけ何かに挑戦しようと思えているのだったら大丈夫。言っておいで。と背中を押してくれました。説明会を聞いていると、挑戦を全力でサポートしてくれる体制や、周りで関わって、見守ってくれる大人の数の多さにさらに心強くなりました。周りも幸運な事に背中を押してくれているので、自分を変える挑戦をしたい、行きたいという思いがより一層強くなりました

#### < 親 >

- 体感できてよかったです。未来を想像する機会となりました。アクションを起こせるかは今日の段階ではわかりませんが、聞きたいことはありますので、気になったところに聞いてみたいと思えます。また、今回見ることができなかった学校もあったので、是非また説明会に参加したいと思えます
- 都合で母親の参加になりました。生徒たちもしっかりして思っていた以上に魅力的でした。もっと時間をかけて、パンフレットも良く見ながら、一度全て調べてみたいで

# 参画校先生方・関係者の皆様からの声



## 鳥取県立日野高等学校 教頭 坪倉 寿樹 様

今年の地域みらい留学フェスタがオンラインとなったことに、最初かなり戸惑いました。そして、対面で説明できないと本校を志望する中学生は減少してしまうのではと勝手に予想をしていました。実際にオンラインの現場に立つと、他校の取組や課題を共有でき親近感と仲間意識が私自身強くなったと思います。また、オンラインアプリケーションの使い方のスキルが向上しました。何よりも、たくさんの中学生に本校の取組を視聴してもらい、対面より数の多さを感じました。そして、良い出会いがあり、昨年よりも志望者が増加する見込みです。この成果は、プラットフォームのスタッフ全員の情熱の賜であると同時に、チームの一員として活躍している本校のコーディネーターに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 愛媛県立三崎高等学校 羽田 智紀 様

「学校魅力化」の名の下に、全国各地で高校の在り方に変化が起こっている。その変化は、進化とも言えるし、革命と呼んでも過言ではない。初参加した年は対面形式だった。目の前に座ってくれている中学生の心に響くように、声をからして全力で学校の魅力を伝えた。その結果、多くの県外生が我々の仲間になってくれた。コロナ禍の影響もあり、今年はオンライン形式となったが不安はなかった。昨年、目の前に座っていた中学生が、今年は本校の制服を着て一緒に学校の魅力を伝えることができるのだから。「すべては自分次第」「家族のありがたみが身に染みた」「地元に戻った時、ようやく胸を張って歩けた」革命は終わらない。未来は僕らの手の中。あなたを待っている人がいます。自分を、超えて行こう。



## 北海道大空町教育委員会 阿部 亜美 様

まだできていない無名の学校をいかに知ってもらおうか、これが大空高校最大の課題でした。そもそも、従来のフェスタすら知らないのですが、そこへ加えてオンライン開催という状況に。キックオフのイベントで、代表の水谷様から、「新しいということは最大のアドバンテージ」と言っていただいたことが心もとない私たちの拠り所となりました。「まっしろに何を描く？」をテーマに今ある精一杯の情報と想いだけで臨みましたが、想像を超える多くの生徒の皆さんに関心を持っていただいたことに本当に感銘を受けました。そして、フェスタの都度PC越しに出会うほかの高校の皆様やスタッフの皆様が同じ志をもつ仲間のように、それに支えていただきながら走り切ることができました。出会ったすべての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。



## 島根県教育庁教育指導課 調整監 立石 祥美 様

今年は対面開催がほぼ不可能と予想される中、ICT活用が進んでいない学校（と県教委）が本当に説明会の目的が達成できるのか？しかし他に選択肢はない・・・という状況でオンライン参画に踏み切りました。結果的には「対面ではお会いできない方も訪れていただいた」「距離や回数制限なく説明の場が持てた」「リアルな対面よりも落ち着いて個人的な本音の話がお聞きできる」といった良さを感じることができました。来年度はオンライン開催で見つかった課題をクリアし、参加者・学校双方にとって有用な出会いの選択肢を作りたいと考えています。



## 三重県立昴学園高等学校 コーディネーター 山田 能健 様

本校は昨年度から地域みらい留学に参加しています。今年度はオンライン開催となりZoomの扱いや、画面越しの相手に上手く伝えられるのかなど様々な不安を持ちながら説明会に参加しました。しかし、回数を重ねていく中で、オンラインでの開催は予想以上の効果があると感じました。まずは参加者の地域が広がったことです。都会だけでなく地方の方や海外の方からも参加があったことに驚きました。次に本校寮生と訪問者が交流できたことです。交流により訪問者の寮生活に対する理解を深めるよい機会となりました。来年度は本校の魅力をより理解していただけるPRをしたと考えています。

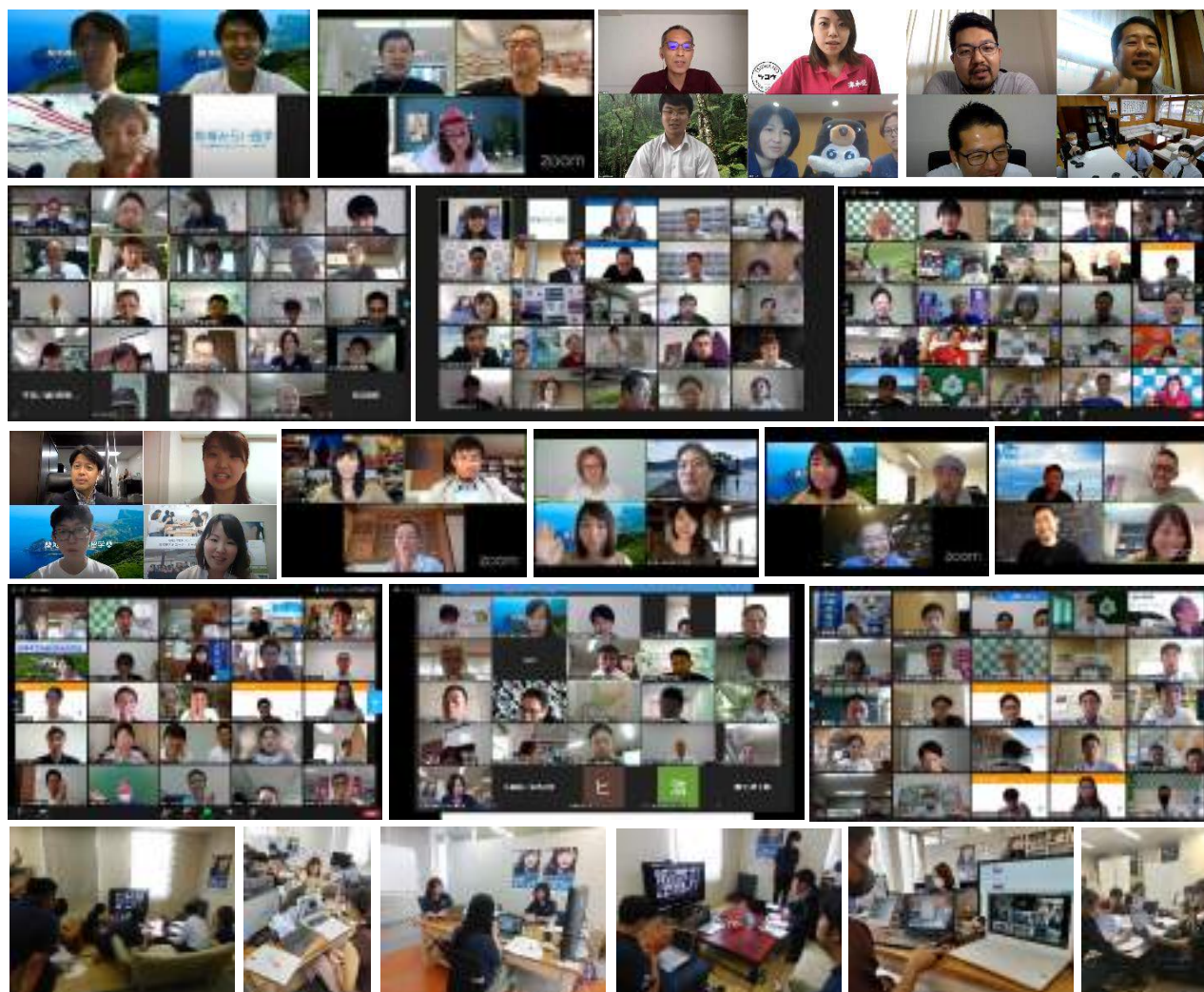


## 山形県立遊佐高等学校 魅力化コーディネーター 藤川 かん奈 様

今年のオンライン開催で一番印象に残ったことは、「高校側の関係者や生徒同士が繋がれたこと」です。フェスタの後に生徒同士がSNSで繋がっていたり、コーディネーターや先生も連絡を取り合っていて、遊佐高校の場合は、実際に他校のコーディネーターさんがいらっやいました。その際、両校の生徒をリモートで繋いだ交流会をしたり、他校さんを巻き込んで一緒にできるプロジェクト学習を一緒に考えることが出来、これから高校同士の繋がりがどんどん“ノーボーダー”になっていく雰囲気にとってもワクワクし、可能性を感じました。



「地域みらい留学フェスタ2020」にご協力いただいたすべての皆様、  
本当にありがとうございました。





# 地域みらい留学2020 オンライン

[高校進学・国内単年留学合同説明会]

参加無料 / 事前予約制

地域みらい  
留学がわかる!

全国の高校に  
出逢える!

直接質問が  
できる!

中学生はこちら  
[開催スケジュール]

高校1年生はこちら  
[開催スケジュール]

会員登録  
(無料)

## 地域みらい留学2020オンラインとは



昨年まで、東京・名古屋・大阪・福岡で開催していた  
地域みらい留学フェスタが、  
オンライン開催で帰ってきました!

高校3年間地域で学ぶ「地域みらい留学」と  
高校2年生の1年間地域で学ぶ「地域みらい留学365」。

オンラインだからこそ気軽に参加していただけるように  
多くのイベントをご用意しています。  
全国の地域みらい留学学校や地域について、  
先生、先輩や卒業生、寮の担当者や  
地域の方に直接話が聞けるチャンスです。

中学生はこちら  
[開催スケジュール]

高校1年生はこちら  
[開催スケジュール]

## 地域みらい留学2020オンライン登壇者



指出 一正  
Kazumasa Sashide

ソトコト編集長



今村 久美  
Kumi Imamura

(一財)地域・教育魅力化  
プラットフォーム  
共同代表  
認定NPO法人カタリバ代表



若新 雄純  
Yujun Wakashin

慶應義塾大学 特任准教授  
株式会社NEWYOUTH  
代表取締役



地域の先生・  
コーディネータ



地域みらい留学  
卒業生・同級生



地域みらい留学  
経験保護者の方

## 地域みらい留学2020オンラインの 2つのイベント!

多くの方に、高校進学・留学の1つの選択肢として「地域みらい留学」を選んでいただけるよう、  
たくさんのイベントをご用意しています!

定期開催!いつでも気軽に参加

### 地域みらい留学 LIVE!

地域みらい留学の概要を知るだけでなく、地域で過ごす高校生活を、  
具体的にイメージし探究テーマを見つけることができます!

例えばこんなイベントがあります

- 地域みらい留学説明会
- 卒業生・保護者の経験談
- 高校選びのワークショップ

まるっと1日参加

### 地域みらい留学フェスタ!

7月~9月に月1程度の開催を予定11日で、地域みらい留学の概要を知り、  
複数の高校を比較しながら自分に合った高校を見つけることができます!

例えばこんなイベントがあります

- 地域みらい留学とは
- 合同説明会
- 個別説明会



中学生はこちら  
[開催スケジュール]

高校1年生はこちら  
[開催スケジュール]



## 近日開催予定のイベント



### 地域みらい留学説明会

留学概要や、全国の留学先情報、留学にかかる費用など、  
基本的なことを知ることができます!



### 卒業生が語る地域みらい留学

地域みらい留学を経験した卒業生から、地域の生活、  
卒業後の進路について話が聞けます!



### 合同説明会・個別説明会

先生・先輩から、留学先の学校情報を聞くことができ、  
直接、質問もできます!



### 保護者が語る地域みらい留学

子どもと共に、進学を決めるまでの悩みや葛藤、  
高校入学後の子どもの成長など、お話が聞けます!

もっと見る

イベントの参加には  
会員登録が必要です **会員登録(無料)**

# 地域みらい留学2020オンライン 参加の3つのPOINT

1

「地域みらい留学」を知ることができる

「地域みらい留学の概要」や「卒業生・保護者による経験談」を聞くことで、よりリアルな地域での高校生活のイメージを膨らませながら地域みらい留学とは何かを知ることができます。

2

進路選択の軸を  
考えることができる

高校進学、高校留学を考えていく上で、全国の地域みらい留学学校を知ることにより「どこで自分に合った高校生活が送れるのか」について一緒に考える機会を創ります。

3

全国の地域みらい留学学校に  
直接相談できる

留学先となる、学校・地域の魅力を、学校の先生や在校生などに直接話を聞くことができます。また、留学に向けて不安に感じていることを、直接相談できます。

## 参加者の声

### 中学生

- たくさん的高校を知れたのでいろんなところに行きたいという気持ちが増えました。
- 在校生の人と交流が出来て細かいことまでわかったのでとても良かったです。
- 実際に体験した人の話や、校長先生たちとの距離が近くて、ひとつひとつすぐわかりやすく、「自分がもしこの学校に行ったら・・・」と想像しやすかったです。
- ネットで調べても出てこなかったことが詳しく知ることができました！

### 保護者

- 卒業生、在校生、保護者のお話が大変心に響きました。実際の生の声は貴重で、嫌な気持ちをどう克服したか、周りの大人の接し方等、子供ならではの体験の声が聞いてよかったです。
- 各ブースの先生のお話も親身になっていただき安心できました。
- 子どもの可能性と進学について、楽しく考えられそうな気がしてきました。これからもっと視野を広げて学校選びをしたいと思います。

## 地域みらい留学2020オンラインの 参加方法

地域みらい留学2020オンラインの参加には  
会員登録が必要です。

### STEP 1

#### 会員登録をして参加予約をしよう

地域みらい留学2020オンラインの会員登録(無料)を行い、参加したいイベントの「参加予約」を行います。参加予約したイベントはマイページからご確認いただけます。

イベントの参加には  
会員登録が必要です **会員登録(無料)**

### STEP 2

#### マイページからイベントに参加しよう

マイページにログイン後、「予約した一覧」から該当のイベントをクリックしzoomアプリを起動しましょう。

### STEP 3

#### 今後のイベントを予約しよう

参加後、アンケートに回答し、今後参加したいイベントを予約しておきましょう!

## 地域みらい留学の応援者



村井 満  
Mitsuru Murai

公益社団法人 日本プロサッカー  
リーグ(Jリーグ)チエスマン



太田 直樹  
Naoki Ota

総務省政策アドバイザー  
株式会社New Stories代表



鈴木 寛  
Kan Hiroshi Suzuki

東京大学/慶應義塾大学教授



船橋 力  
Chikara Funabashi

文部科学省  
トビタテ!留学JAPAN  
プロジェクトディレクター



矢島 里佳  
Rika Yajima

株式会社和える  
代表取締役



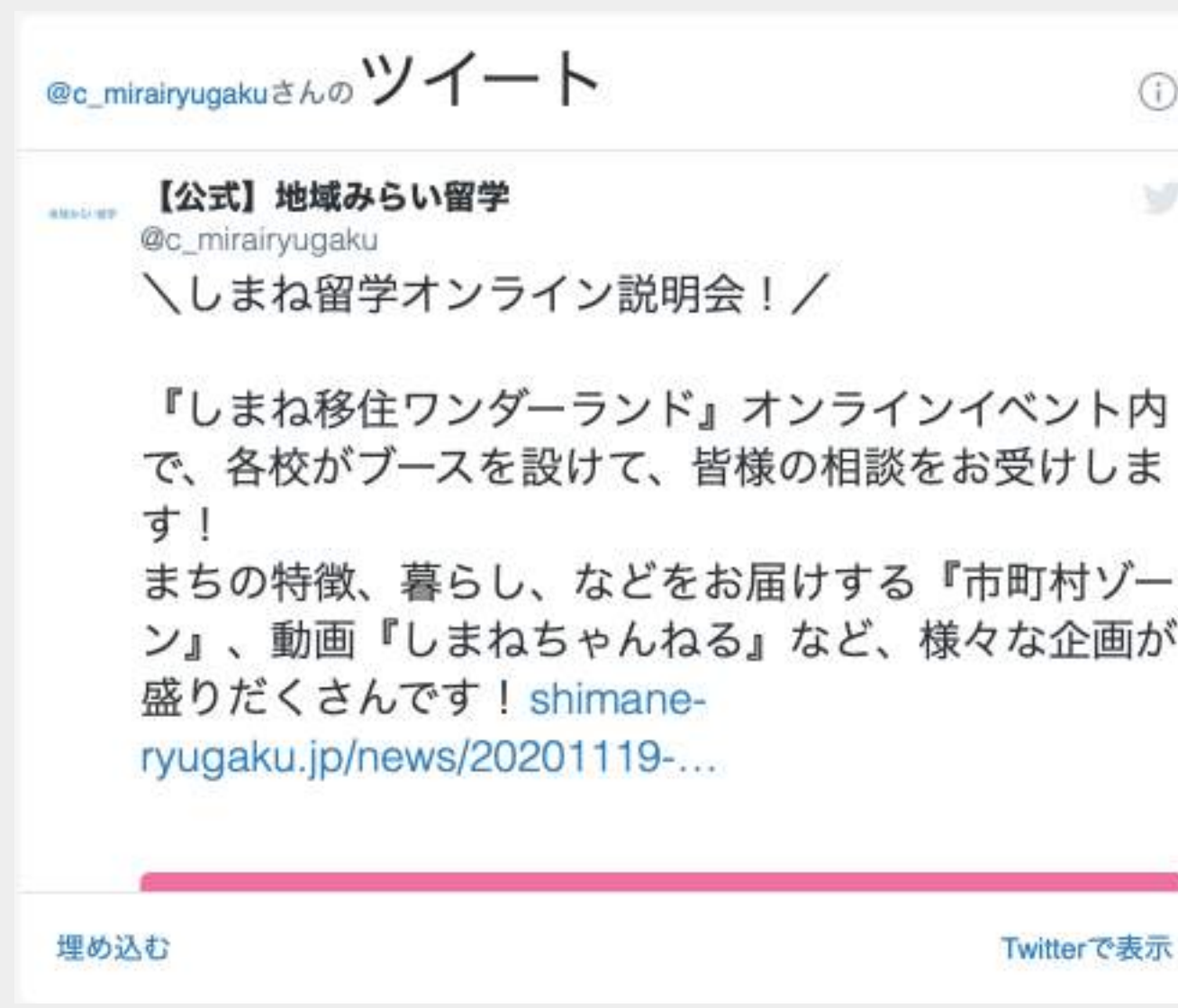
佐渡島 庸平  
Yohei Sadoshima

株式会社コルク  
代表取締役社長

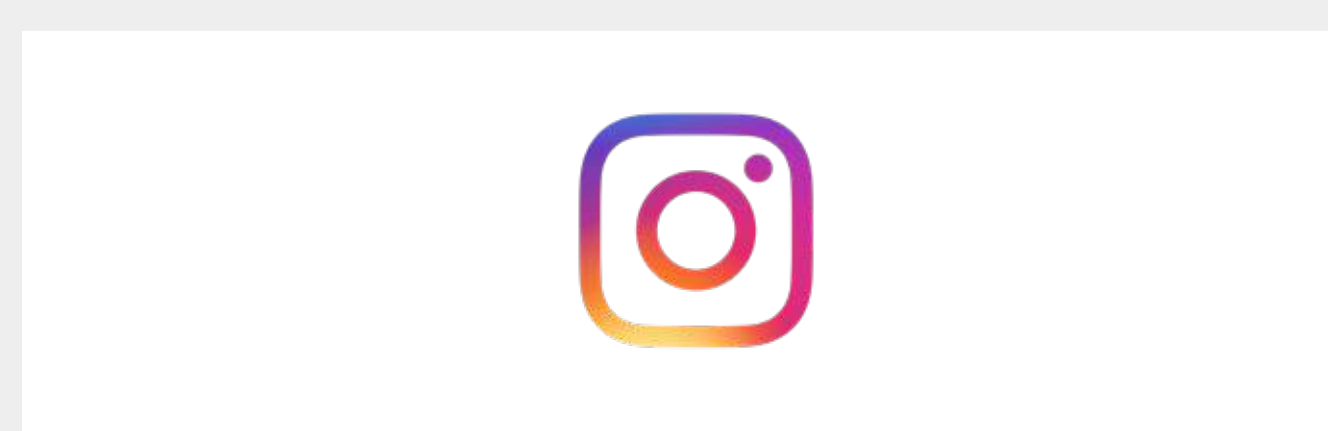
### Facebook



### Twitter



### Instagram



### note



## 地域みらい留学2020オンライン



【主催】(一財)地域・教育魅力化プラットフォーム、内閣府、地域みらい留学推進協議会  
【共催】島根県教育委員会【後援】総務省、文部科学省【協力】日本財団

一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム

島根県松江市母衣町83番地5 母衣ビル3階

©2018 地域・教育魅力化プラットフォーム All rights reserved.